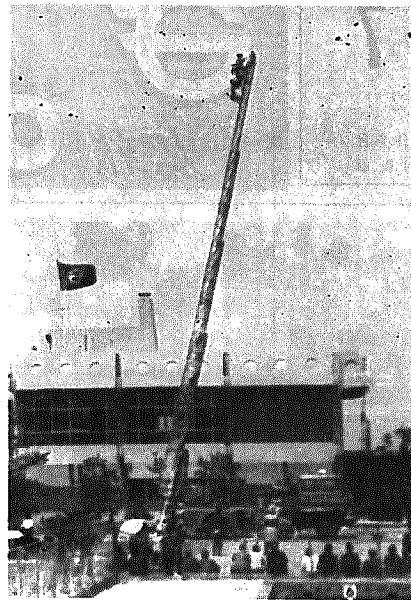


華やかな鼓笛隊パレード

盛会だった消防大会



ハンゴ車の演技

去る六月十一日に挙行された三市中浦地区消防大会は、絶好天に恵まれ予期以上の成果を挙げた大会を終った。

当日は消防団員二百五十名と、他団員等五十名総勢三百名が正装して参加し、日頃鍛錬した消火訓練をグラウンディング一杯にくりひろげ、多数の来賓や一般観覧者をよく号令に統率された規律ある動作と、若さ溢れるスピード感のある行動によつて魅了させ、かつたないすばらしい大会であつたと評された。又ハンゴ消防車による模範演技も行なわれ、施設消防の威力をまのあたりに感じさせられた。

大会の最後は市中行進で、先頭は青陵高校生の華麗なるパレード隊二十名が国道一杯に演技を披露して、続いて消防団員の堂々たる行進と、自動車隊の威容が続きこれら新潟市消防本部音楽隊の奏するマーチによつて、並みいる沿道の観衆の拍手をあびた。

「さちかぜ号」来るー

生活改善車

小杉上農業構造改善地区では去る六月二日県の農村生活改善車「さちかぜ号」をむかえて、夏場向けのスタミナのつく栄養食料の指導会を行なつた。

ライオンタイア前の広場に陣どつた「さちかぜ号」の前には、昼食を終えた地区の主婦約二十名が集まつて、普及所の生活改善普及員が手際よく作る料理を試食したり、作り方の講義をうけたり、又最近話題になつてゐるE.C.B.公害について具体的な事例をあけての説明をきいたりして二時間余にわたつた有意義な指導会を終つた。



(熱心に講習をうける主婦)

病気は予防が第一、発見は検診から
—もれなくみんな受けよう—
7~8月保険衛生業務予定

月日	曜日	時間	実施内容	該当者(地区名)	場所
7/7	金	午後1.30~2.30	三種混合予防接種 1期 2回	昭46.11.1~47.2.29生れのもの	公民館
7/13	木	午後1.30	離乳食講習会	昭47年1月2月3月生れのもの	公民館
7/17	月	午前9.30 午後1.30	血圧精密検査 血圧再測定	一次検診該当者 横越・川根谷内	公民館
7/18	火	午前9.30 午後1.30	血圧精密検査 血圧再測定	一次検診該当者 沢海・堀山	沢海小学校
7/19	水	午前9.30 午後1.30	血圧精密検査 血圧再測定	一次検診該当者 木津・二本木	木津小学校
7/20	木	午前9.30 午後1.30	血圧精密検査 血圧再測定	一次検診該当者 小杉・藤山・駒込	小杉小学校
7/21	金	午後1.30~2.30	乳児検診	昭46年7月12月~昭47年4月生れのもの	公民館
7/27	木	午後1.30~2.30	三種混合予防接種 1期 3回	昭46.11.1~47.2.29生れのもの	公民館
8/1	火	午前8.00から	胃ガン検診	希望者	公民館
8/2	水	午前8.00から	胃ガン検診	希望者	沢海権益所
8/3	木	午前8.00から	胃ガン検診	希望者	木津水戸口集会所
8/4	金	午前8.00から	胃ガン検診	希望者	小杉小学校
8/11	金	午後7.00から	新婚学級	47.3月~7月まで届出のもの	公民館
8/18	金	午後1.30~2.30	乳児検診	昭46年8月~昭47年5月生れのもの	公民館
8/25	金	午前9.00から	子宮ガン検診	希望者	公民館
8/28	月	午前9.30から	母業学級	6月に欠席したもの 7月8月届出のもの	公民館
8/30	水	午後1.30~2.30	三才児検診	昭43.10.1~昭44.4.1生れのもの	公民館

明るい農村
それは
みんなの心から

47年度「新潟米」重点事業決る

稲にも暖かい手をのべよう

昨年の稲作をふり返つてみる。年産米の等級低下は、越路早生が四十五年間で四十%の上位等級比率であつたものが、

幼穂発育の遅りつゆ、登熟期のフーン現象による過高温と低温、少照の連続等々、稲作発育期に不良気象が強く影響したことです。

一方多収品種から良質品種への急速な転換、あるいは社会情勢からくる生産意欲の変化も加つて収量米質ともに低下し、特に個人差のある稲作がみられました。

その内容みると、良質の奨励品種が増加したが、検査等級が著しく低くなり、特に四十六



46年度産米農家組合別上位等級成績

順位	農家組合名	上位等級割合
1	二三口下中山一田六	40.4%
2	下下戸津越	24.9%
3	越越越	23.7%
4	横越横水横焼大前沢	23.1%
5	新田新海	20.5%
6		19.4%
7		19.2%
8		16.2%
9		15.3%
10		

(現地研修する横越下生産組合)

十%に落ちたことは、過度の現象が主因だと思えます。一般的に越路早生は、稲苗確保によつて良質米の早期確保をはかり、元肥液肥を地肥を活用することが栽培技術の基本とされています。

昨年はこの基本が乱れ不良苗の障害が、後期までもちこまれ穂肥の施用ができず、出穂期以降葉萎失調の状態がみられ、このことから良質米育成の重要性を再認識する必要があるようです。又個人差が等級に及びつて歴然としたのも稲作全般の管理の良否によるものと思われまふ。

例年問題となる倒伏は、穂数か少なく更に伸長期の低温や栄養不足等が原因として極めて少なくなつたようです。又品種統一と調整面に向上がみられたもの、早期落水、生つら焼却の問題、取穂、乾燥等の改善についても十分でなく今後生産意欲の向上と合せて生産体制の整備は早急に解決を要する課題です。

「新潟米」重点推進項目

- 一、重点品種の普及推進
 - 二、重点品種の普及推進
 - 三、重点品種の普及推進
 - 四、重点品種の普及推進
 - 五、重点品種の普及推進
- 指導目標
1. 品種統一と団地化
 2. 施肥基準の設定と協定
 3. 栽培技術の改善と研修
 4. 管理作業の協定と共同化の推進
- 指定集団
横越上、木津上
川根谷内
- 研修事業
中核指導者の育成
四、地力保全推進事業
五、稲ワラの水田還元
六、客土の奨励
七、良質米生産広報の発行